



第2580地区 東京豊島東ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

創立/1986年2月19日 (会長)廣内 世英 (副会長)渡邊 裕之 (幹事)有我 信行
例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
HP <http://www.toshimah-rc.jp> E-mail info@toshimah-rc.jp

第 1336 回例会

2014 年 6 月 4 日

本日のプログラム

例 会 12:30~13:30
卓 話「私とロータリー」

齊藤 直会員
時友 雅行会員

次回のプログラム

理 事 会 (新旧合同) 11:15~12:00
例 会 12:30~13:30

卓 話 クラブ協議会
各委員会の総括新旧引き継ぎ

🎵 今月のソングリーダー 浅原 英明会員 🎵

前回の例会報告 2014 年 5 月 28 日

幹 事 報 告

- ①ロータリー平和センター年次セミナーならびに平和フェローの終了を祝う会が国際基督教大学にて6月14日(土)に開催されます。
- ②日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会のご案内が来ております。6月23日(月) ツキサップゴルフクラブにて実施要項については事務局まで。
- ③6月11日理事会ならびに例会場が変更になります。
理事会25階マーキュリー、例会は25階パリスです。

6 月のお祝い

【会員の誕生日】

西島貞枝会員 19日
島田謙司会員 28日

【夫人の誕生日】

櫛田由紀子夫人 9日
今田早苗夫人 16日

【結婚記念日】

有我信行・久美子ご夫妻 3日
榊原一久・靖子ご夫妻 15日

■出席報告

会 員	出席参加 会員数	出席数	欠席数	出席率	5月14日分 修正出席率
33 名	28 名	20 名	8 名	71.43%	85.71%

新会員の紹介



はやし ふみひさ
林 文晔会員

入 会 日 2014年6月4日
生年月日 1962年7月24日生
推薦会員 廣内世英・渡邊裕之
事 業 所 池袋デンタルクリニック 院長
〒171-0021

東京都豊島区西池袋1-16-10 4F

☎ 03-5985-1180

FAX 03-5985-1184



例会前のひと時

「本当のコミュニケーション」

落語家 三遊亭圓窓師匠



ニコニコBOX

北分区ガバナー補佐 大野晴治様・分区幹事 新藤伸人様・分区副幹事 松崎徹哉様／お礼のご挨拶に伺いました。貴クラブの益々のご発展をお祈り申し上げます。一年間お世話になりました。

前川会員／私は6月が受付当番なのですが海外、国内の出張が重なり6月18日しか出られず申し訳ありません。7月にも出させて頂きます。

稲川会員／本日、65回目の誕生日をむかえました。これで、前期高齢者の仲間入りです。これからも、よろしくお願いします。

櫛田会員／シドニー国際大会参加できず申し訳ございません。お氣をつけて行ってらっしゃい。

RI 会長からのメッセージ



ロン D. バートン
2013-14 年度会長

2014 年 6 月

親愛なるロータリアンの皆さん、オクラホマでは「積まれた薪の山の前を去る時は、見つけた時より少しだけでも高くしておかなければならない」と言われています。これを実践するために、私は皆さんに参加をお願いする必要がありました。参加することは、私たちの今年度のテーマ「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」そのものです。そして、私たち一人ひとりがそれを成し遂げました。私たちの一人ひとりが椅子から立ち上がって、ロータリーを实践してきたので、私たちは人生を豊かなものに変えたのです。

今年度、私は皆さんにそれぞれが新しい会員を連れてくるよう頼みました。国際ロータリー理事会は、世界中で会員増強をする基盤をつくりました。16の地域別会員増強計画が、今、進行中です。それぞれの地域で、人々がロータリーにいる理由付けを確信できるように設定されたものです。子どもたちへの本の読み聞かせ、恵まれない人のための炊き出し、幹線道路沿いのごみ拾いといったプロジェクトの手伝いをしてくれる会員候補者がいれば、あとはおのずと進んでいくと、私は信じています。彼らは、自分たちが誰かの人生を変えたと実感するでしょう。そして、ロータリーの奉仕を通して与える時、それ以上に報われると実感するでしょう。私はまた、皆さんにロータリー財団への寄付をお願いしました。今年度のガバナーは全員それを実行し、ロータリーの歴史の中で、初めてこの約束を果たした「ファーストクラス(バートン R I 会長が今年度のガバナーにつけた呼称)」になりました。

私たちは、自分のクラブで何の責任も持たないことを心地良く感じる場合があります。その理由は、私たちがロータリーをもっと実践するよう働きかけられていないからかもしれません。もちろん、例会に行って友人たちに会うのは素晴らしいことです。しかし、もし皆さんが情熱を注ぎたいければ、プロジェクトに関わる必要があります。実践的なプロジェクトにおいては、皆、同じになれます。トラックから箱を降ろす作業をしている時、あなたは隣の人と何ら変わるところはありません。その人は、あなたといささかの違いありません。共に奉仕する時、皆、仲間であり、このようにして人々は関わり続けるのです。

ロータリアンは、ロータリーが行っていること、そしてその能力をあまりわかっていないことがあります。ロータリアンが、私が今年度見てきたように、プロジェクトがどのような影響を与えているのかを目の当たりにすることができたら、彼らの人生はより豊かなものになるでしょう。ロータリアンは、会員が良いことをしたいという共通の思いを持ち、共に働くことで、とてつもないことを成し遂げる組織に所属していることを理解するでしょう。

私は、ロータリアンが行っている善行を見て畏敬の念を抱き続けます。皆さんの活動のおかげで、薪の山は少し高くなったと確信し、皆さんの一人ひとりがこれからも「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」続けてくださることを願っています。